

委員会報告

2017～2018年度

No.1

第 9 回

委員会名

環境委員会

委員長名

L 佐藤 剛

開催日時	2018年 4 月 24 日 火曜日					17 時 00 分 ～ 19 時 00 分				
開催場所	キャビネット事務局会議室									
出席者	×	細川地区ガバナー		今井第1副地区ガバナー		伊賀第2副地区ガバナー				
	○	L 佐藤 剛 委員長	○	L 中川喜美枝副委員長	○	L 村上隆信 副委員長				
	×	L 宮澤 勇 副委員長	○	L 蒲生 強 副委員長	×	L 高倉 倫明 委員				
	×	L 浅賀 宗 委員	○	L 中山 進 委員	×	L 小林 良吉 委員				
	×	L 島田 芳子 委員	○	L 森田 浩司 委員	○	L 櫻井 秀敏 委員				
	×	L 小林 正治 委員	○	L 加藤 陽介 委員						
出席オブザーバー										
×	L 田中 則雄 SPA	○	L 中島 彰良 SPA							
○	L 江野上 孝一 副幹事	×	L 半谷 英治 副会計							
次 第										
	1									
	2									
	3									
	4									
	5									
	6									
議 題	審議経過事項の概要									
	第9回委員会は、細川孝雄ガバナーが所属されている3R主催の環境シンポジウム									
	に参加してエシカル活動を探る「移動委員会」									
	山本良一先生による講演「エシカル経済とエシカル消費の動向」									
	場所: 港区エコプラザ									
次回開催日時 場所	2018年 6 月 11 日 月曜日					15 時 45 分 ～ 17 時 30 分				
	キャビネット事務局会議室									

作成者

L 中川喜美枝

エシカルな消費とは？

私たちは日々、何かしら消費をして生きています。食料、洋服、エネルギーなど1日の生活を振り返ってみても、多くのモノを消費しています。では、それらが誰の手によって、どこで、どのように作られたか、考えたことはあるでしょうか？自分で意識的に調べない限り、それを知ることはありません。

けれども、私たちが消費しているモノの生産背景を知ることは、とても大事なことです。

なぜなら、それが世界中で今緊急課題とされている、「貧困問題」「人権問題」「気候変動」を解決するための、大事なきっかけとなるからです。

これらの問題は先進国の人々が大量生産、大量消費を繰り返してきたことによって、社会的に立場の弱い生産者が搾取され、貧困に喘ぐ状況が生み出されたり、地球の再生能力よりもはるかに早く、有限な資源を使い果たし環境を破壊しているのです。

私たちが考えるべき消費のあり方

今まで私たち消費者は「貧困問題」「人権問題」「気候変動」は個人の問題ではなく、企業や社会の問題だと思って目をそらしてきてはいなかったでしょうか。

世界で起きている、深刻な問題を消費者として解決するひとつの有効な手段として「エシカル消費」があります。エシカル消費とは、「人と社会、地球環境のことを考慮して作られたモノを購入あるいは消費する」という意味です。実は私たち消費者は、日々の買い物を通じて、世界に影響を与える力を持っています。

コットンを一例に挙げていえば、発展途上国の小規模農家がオーガニックコットンを育て、それを買い手が適正で公正な値段で購入することにより、農家の生活改善と自立が支援され、農地の環境も破壊されることがなくなります。この仕組みをフェアトレードと言います。フェアトレードもエシカルな消費のひとつです。フェアトレードによって生産されたオーガニックコットンを私たち消費者が選ぶことが、エシカルな消費になるのです。

今すぐ、誰にでもできるエシカル諸費があります。

まずは、こんなことから始めてみましょう！

- ・ 必要なものを、必要な分だけ買うように心がける。
- ・ 電気や水を大切に使う。
- ・ リユース、リサイクルできる製品を選ぶ。
- ・ 買い物をするときはその生産地や生産国をチェックする。
- ・ 値段の安さだけでなく、長くつかえるかどうかを重要視する。
- ・ 積極的に地元で買い物をし、できるだけ地元の産品を買う。
- ・ エシカルな認証やマークがついた商品やサービスを手にとってみる。



はじめませんか？

エシカル消費

Ethical
Consumption

監修 東京大学 名誉教授
山本 良一

日々の買い物で、
社会貢献！

